

山仕事くらぶ活動記録

平成28年9月22日(木) 秋分の日	天候 曇り	記録者 小原 征行
参加人員 11名	ゲスト なし	
活動場所 滝沢市・相の沢モンゴル村	ムンフバット村長は植林の交渉でモンゴル渡航中	
活動内容 野鳥の巣箱作り、チップ敷き、大型テントの補強	活動面積/総面積 ／	
<p>あの暑い夏から一転、肌寒い秋の訪れの中で、平賀氏が用意してくれた板材、設計図により各々が鋸、曲り尺で寸法通り懸命に挽く！</p> <p>フクロウのあの愛くるしい姿を思い出しながら、シジュウカラが巣作りしてくれることを願いながらの作業は午前中で終わった。</p> <p>午後は歩道のチップ敷きと、田沼氏の指導の下に大型テントの補強作業を終えた。</p> <p>久々に皆の笑顔に接し、私なりの満足感で帰途に着いた。</p>		

巣箱を利用する野鳥・・・シジュウカラ、ヤマガラ、キビタキ、ミミズク、フクロウ etc.

巣箱の利用目的・・・春の繁殖期に子育てのために使います。まれに冬の避難小屋としても利用



シジュウカラは毛虫を、フクロウはネズミを大量に捕ってくれる「益鳥」



杉板をステンレス製の釘、蝶番で組み立てます。モンゴル村の夜「オッホ・オッホ」の音が聴けるかな？ この巣箱の耐用年数は15年

モンゴル村整備費用として「モンゴルと盛岡の仲間たちの会」から協賛金をいただきました。



ガスバーナーで焼きを入れて完成



強風に備えて、大型テントを八〇キロのコンクリートアンカーとワイヤーで補強

収穫は来年の秋？